

トランプ新大統領で世界はこう動く(2016年11月10日) 担当:石田昭 2016年11月27日

- 1 日本の選挙ではマスメディアの予想通りになる。そうならないのが民主主義で、自分の判断で投票する。これは天上界から「神風」を吹かせたという側面がある。主が吹かせた。
- 2 紐育の会員は、民主党員が多いが、今回はトランプの応援をした。カフスをプレゼント
- 3 オバマやクリントンでなかったら、ISは存在していない。中東での混乱の原因となった。
- 4 習近平はクリントンよりもトランプの方が組し易いと見ているが、それは違う、逆だ。
- 5 日本の外務省や日本政府は TPP を気にして、クリントン勝利を期待・予想していた。官邸にはクリントンが逃げ切ると報告。開票状況を見て、安部総理は外務省に怒りの電話を入れたらしい。
- 6 トランプは関税を外交上の武器と見ている。中国の外交政策に不満なら、関税をかける。
- 7 日本には TPP が重要と言ったのは、オバマの取る外交政策だから参加するしかない。でなければ中国が進出し、アメリカをハワイまで押しやる。トランプには二つの道がある。
- 8 一つは TPP で環太平洋の繁栄を図る道。もう一つは再度アメリカを偉大な国家とし、新たなるリーダーとする道。トランプの言う「世界の警察官否定」は本音ではない。一時のこと。
- 9 中国と日本の「経済成長率」と「経済力」には差はないことが、ここ2、3年でわかる。
- 10 トランプは「日本は日本であるべき」というが、これは正しい。日本は実質2位の経済大国であり、大きすぎる。国を守れない経済大国というのは“ミステリー”で、おかしい。
- 11 トランプは「アメリカは南沙諸島の軍事力を増強すべし」と言っていて、戦略的な発想を持っている。習近平は「中国は大きく、アメリカは袂を分かてない」と思っているが違う。トランプは「経済的思考」と「世界正義」の二つを考えていて、信頼できる人である。
- 12 この25年、中国は発展、日本は現状維持、アメリカは数十年貿易赤字。これはリーダーが弱すぎたから。トランプはまず経済面から改善する。世界平和・勢力均衡のために良い。
- 13 トランプ当選で来年以降よく眠れる。再び、日米関係が「世界のメインエンジン」となる。アメリカと日本が持つ根本的価値観が「世界基準」として機能し、8年間共栄できる。
- 14 アメリカは「強さ」を取り戻し、「民主主義」「自由」「繁栄」「専制政治を防ぐ」という価値観で世界をリードする。その後、再度世界の警察官を担うべきである。一時は内向き
- 15 (以下質疑応答): 選挙で二分されたアメリカの今後。トランプは素晴らしい政治家になれる。最高司令官に最もふさわしい人。「壁」など、移民に厳しい政策は現時点では必要だが、恒久的なものではない。メキシコからの不法移民問題はアメリカ内部の“ガン細胞”
- 16 「移民」は優秀な人材の流入という利点もある。「夢の国」「新たなエンジン」という観点をトランプは持っている。1年で新しい「移民政策」を立てるだろう。ヒラリーの訴追中止(ベンガジ、チャイナマネー問題)、インド系の女性国連大使など、穏健な姿勢。分断は心配無用。
- 17 世界最大の「夢の国」なので、もっと輝かくべき。彼の現実的政治能力で克服できる。
- 18 減税政策は成功するか。税金は15%で充分。「安い税金」「民間の繁栄」という基本政策で成功する。逆に安部政権は企業の内部留保を吐き出させようとしているが、これは悪政、"悪い殿様"社長。「政府が大きければ、平等な社会ができる」と考えるのは共産党宣言にある思考。トランプがアメリカの税制を変えれば、日本も考え方を変えざるを得ない。
- 19 アメリカとロシアの関係。良い方向に変わる。1年で関係が改善し「IS問題は終わる」
- 20 トランプは中国の経済拡大が尋常でない事、「為替レート」と「関税」に問題があることに気付く(クリントン財閥の問題)。アメリカ企業を中国から引き上げ、国内生産に励む。日本もそれに追随する。彼は国家には実体経済が不可欠であることをよく知っているから。